

青 垣

第8号 発行日 平成20年6月17日

雲南市立吉田中学校だより

出雲地区吹奏楽祭 心地よい風を感じた ～吉中の演奏～

出雲地区吹奏楽祭が6月7日(土)に出雲市民会館で開催されました。出雲部の中学校や高校を中心に30団体が出演し、平素の練習の成果を発表しました。

この音楽祭は、県吹奏楽コンクールに向けての腕試し、度胸試しの演奏会という一方、全国でも中高生トップレベルの演奏が聴けることもあり、収容人員1000人の出雲市民会館も満席の状態となりました。

吉中吹奏楽部は、この吹奏楽祭での演奏を一つの目標として、また、大きな会場で多くの人に聴いてもらえる「心地よい緊張感」を楽しみに練習に励んできました。特に吹奏楽祭を前に、プロの講師の方にレッスンをお願いしたり、体育館で合奏をするなど、当日に向け部員たちは「心一つに」一生懸命に練習に取り組んできました。



当日は、吉中の多くの保護者の皆様や地域の皆様にも来場いただきました。浜山中学校の演奏が終わりいよいよ、吉田中学校の出演です。ステージでは演奏の準備が終わり、緊張感が生徒からは伝わってきました。吉中の演奏曲は、序曲「サーリセルカの森」、フィンランドの雄大な森林をイメージした作品です。張り詰めた雰囲気の中、演奏が始まりました。思ったより生徒たちは落ち着いている様子でした。私は、演奏に『森の中を通り過ぎていく風』を感じ取りました。木管楽器の音色は「優しく爽やかな風を」、管楽器の音色は「頼もしく重厚な風を」、パーカッションの音色は「力強くリズムのある風を」イメージさせてくれました。そして、吉中サウンドは、私を安らぎの森に誘ってくれました。演奏が終わると観客席から、生徒たちの熱の入った演奏に大きな拍手が贈られていました。

吹奏楽部の皆さん、出雲地区吹奏楽祭の緊張感を楽しみながら演奏をすることができましたか。演奏者が演奏を楽しまなければ、「聴いてもらう人に感動を与える演奏」はできないと思います。吹奏楽コンクールで満足のいく演奏、悔いの残らない演奏をめざし、緊張感を持って練習に取り組んで下さい。

雲南市飯南町 総体バレー 準優勝 悪戦苦闘の二日間 ～険しい県大会への道のり～

【1日目】予選トーナメント1回戦の相手は三刀屋中でした。試合のスタートは、吉田は二人の3年生と四人の1.2年生、三刀屋は全員が3年生でした。試合の前半は初戦の緊張からか、お互いにリズムをつかむことができず吉田8 - 8三刀屋、その後は相手のサーブミスに助けられながらも、吉田もサーブミス、アウトボールに手を出すなどミスの連発。生徒たちの更なる緊張が見て取れました。吉田がリードしていた得点も「アッ」という間に三刀屋が逆転、吉田22 - 23三刀屋、吉中タイムアウトを取れども、三刀屋に24点目が、吉中続けて2回目のタイムアウト。万事休すかと思いきや三刀屋のサーブミスで吉田23 - 24三刀屋、そして吉田のサービスエースで吉田24 - 24三刀屋のジュース、次に三刀屋のレシーブミス、最後はフェイントが決まり、吉田26 - 24三刀屋で辛くも吉中の勝利。この最初の1セットが今大会の岐路(運命の分かれ道)でした。「もしこのセットを落としていればと考えると」今でも背中に冷たいものが走ります。

1セット終了後の休憩の間、3年生の二人はコートサイドを走っていました。きっと緊張を解すためでしょう。2セット目は、平常心で試合を進め吉田の勝ち。その後の試合は、大東中、赤来中にストレート勝ち。2日目に駒を進めました。



【2日目】吉田、木次、加茂、赤来の4校による決勝リーグ戦が行われました。まさしく一進一退の悪戦苦闘の厳しい試合の連続でした。

3校が「2勝1敗」 壮絶な戦い

吉田中 - 加茂中 1 { 29 - 27 } 2 1 { 16 - 25 } 2 1 { 19 - 25 }	吉田中 - 木次中 2 { 25 - 19 } 1 2 { 23 - 25 } 1 2 { 25 - 16 }
吉田中 - 赤来中 2 { 25 - 15 } 0 2 { 25 - 19 } 0	セット率で 1位 木次 2位 吉田 3位 加茂 4位 赤来

授業参観・PTA総会 を開催 学校・家庭・地域の連携を ～ 健やかな生徒の成長を願って～

授業参観、PTA総会、学年懇談会を5月18日(日)の午後開催しました。吹奏楽部はその後、保護者会を行いました。当日は、ご多用の中にも関わらず48名(全P数55名)の保護者、家族の皆様に来校いただき有意義な総会を開くことができました。

授業参観では、1年生が木下先生の国語、2年生が板垣先生の数学、3年生が勝部先生の英語の学習の様子を皆様に見てもらいました。当日に、授業参観等のアンケートをお願いしましたので、その結果をお知らせします。(アンケートの回収数が13名と少数でしたので実数で掲載します)



1. 授業の様子について

A 大変良い B 良い C あまり良くない D 良くない

質問項目	A	B	C	D
(1) 生徒の取り組み態度は...	2	10	1	0
(2) 発表の様子はいかがでした...	1	10	2	0
(3) 授業は分かりやすかったですか...	6	6	1	0

意見や感想など

- ・わが子の声が小さいことが気になりました。
- ・静かな授業でした。
- ・指名されても返事がなくて残念でした。発表するときに答えのみを言っていました。「～です。」と行ってほしいと感じました。先生に質問したり、友達と相談したり応じたりと、よい雰囲気伝わってきました。
- ・数学の授業を見せていただきましたが、分かりやすく丁寧に指導していただきありがとうございます。40代の私でも理解できました。

2. 授業以外の様子について

A 大変良い B 良い C あまり良くない D 良くない

質問項目	A	B	C	D
(1) 生徒のあいさつの様子は...	3	6	9	0
(2) 学級の雰囲気はいかがでした...	2	9	1	0
(3) 生徒はいきいきと過ごしていましたか...	2	8	1	0

意見や感想など

- ・どの学年も男女ともはきはきと挨拶をしてくれて気持ち良かったです。
- ・あいさつの声が小さく元気なく思えました。
- ・生徒とあいさつを交わす場面がありませんでした。
- ・おもに授業中ですが、指名を避けるためか、ノート取るためか、下を向いていることが多かったです。

吉田中学校の新ホームページがスタート

ホームページアドレス

<http://www.city.unnan.shimane.jp/yoshida-chu/>

生徒のアンケート結果より 毎日の生活で疲れる生徒 ～ 人間関係で悩む生徒～

PTA総会では、参加者の皆様に「生徒の実態を踏まえ」次のような話をし理解と協力をお願いしました。

教育相談アンケートの結果から、学校で友達と仲良く過ごせていない生徒が1名いること。そして、保護者の中にも、子供の友人関係を心配している方が居られる事を伝え、学校生活の基盤となる生徒の人間関係に気配りをさせていただくようお願いをしました。そして、アンケート調査の結果を説明し、学校・家庭・地域の三者連携による、信頼関係のもとでの子育てが重要であることをお互いに確認をしました。また、基礎学力の重要性について話し共通理解を図りました。

教育相談業アンケートより(一部抜粋)

A そう思う B ややそう思う C あまり思わない D 全く思わない 数字は生徒の人数

質問項目	A	B	C	D
(1) 何か打ち込めること、一生懸命になれることがありますか	4	1	2	0
(2) 毎日の生活で疲れを感じますか	2	2	8	1
(3) 毎日の生活の中でイライラすることがありますか	8	1	9	2
(4) 「心配だなあ」と思っていることがありますか	1	2	1	5
(5) 心がホット落ち着く場所がありますか	3	3	2	4



保護者の意見や感想

- ・教育相談を受けたら「先生、意外とおもしろい!」「自分はこんなことがあった」と、勉強以外のことをたくさん話した、と話しました。先生たちとより親しくなれたのではないかと親としてもうれしい気持ちになりました。
- ・教育相談の実施や様子について詳しく話していただきよくわかりました。田舎の小規模校でも日々いろいろなことがあるのだなと思いました。教育相談を通して、たとえ一人であっても困難を抱えている生徒のことを思い、心を寄せていただける体制がありありがたいです。家庭や家族も「いらいら」の一因となっていることを反省しつつ...
- ・校長先生から目標・挑戦の話伺い頼もしく心強く感じました。また、アンケート結果から子どもたちがいるいと悩みを抱えていることも知らされました。人間、悩みがない人はいないのでいろいろな壁にぶつかりながら、それを一つ一つ乗り越えて心も身体も力強い人間に成長してほしいです。しっかりとした目標を持ちそれに向かって真剣に挑戦していく吉中生を心から応援していきたいです。私も参観日以来、目標、挑戦です。
- ・土日はスポ少、部活の送迎などで仕事の休みをもらっているの、かえって土日は休みにくくなっておられる声が聞こえてきています。子どもたちの事なので協力はもちろんですが、平日にしてもらってもいいのではと思いました。